

## 2019年度 施策マネジメントシート【2018年度実績評価】

作成: 2019年 6月 10日

施策番号 4-2-3	施策名 国際・地域間交流の推進	基本目標 個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり 政策名 交流を通じた魅力ある地域文化の形成
	主管課 企画財政課	課長名 石田 哲 内線 220
	施策関係課 農林課・社会教育課	

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
友好都市との交流を通して得られる情報をまちづくりに活かします。		町民 交流都市の住民	友好都市との交流に参加し、情報を得ることによって、他地域の歴史・文化、まちづくりの手法などを学ぶことができる				交流を通じた情報の連携によるまちづくりをすすめる
成果指標		説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標
① 他都市(トレーシー・広尾・揖斐川)との友好・交流提携の事実を知っている町民の割合	住民意識調査	%	トレーシー 61.4 広尾町 44.1 揖斐川町46.9	トレーシー 71.5 広尾町 48.2 揖斐川町50.7	トレーシー 70.3 広尾町 46.5 揖斐川町50.7	トレーシー 65.0 広尾町 50.0 揖斐川町50.0	
② 行政が行っている交流事業・行事の数	企画財政課調べ	回/年	16	15	15	16	
③							
成果指標 設定の考え方	①トレーシー市については前期実施計画と同様に65%を、揖斐川町と広尾町は後期実施計画策定時に約45%であったことから50%を目標とする。 ②後期計画策定時の交流行事を維持する目標とし16回とする。						

## 2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	17,728	14,411
人工数(業務量)	0.9815	0.7679

## 3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	取り組み内容・成果指標に大きな変化がなかったため。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた  <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた  <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	広尾町については、目標値をクリアできなかったが、トレーシー市、揖斐川町については、目標値をクリアしており、民間団体による交流も進んだ。このため、概ね達成できたと判断する。
(2)施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	国際交流推進事業 中学生国際交流事業 揖斐川町交流推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・ブラジル移民110周年を記念してブラジル・サンパウロで開催された世界ゲートボール選手権大会に出席し、交流を深めた。 ・揖斐川町との交流については、2019年度から職員の相互派遣を実施するため、協議を行った。		

### (3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

A:実現した

B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した

C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した

D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない

E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 人口対策を進めるためには、郷土愛の醸成が効果的であり、そのためには、外からの視点で芽室町を見ることも重要である。 《今後の予測》 認知度向上に向けて、交流内容などの周知手法を検討することが必要。 地域間交流は人的交流から経済交流に発展させるのが一般的であるが、行政の積極的な関与も重要である。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

### 5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

#### 課題① 民間による経済交流

国際交流・地域間交流ともに、人材交流・物産交流・経済交流などに結び付けていくことが大きな目標であるが、各交流とも事業が定例化しているなかで、JA同士の協力関係が構築され、今後の経済交流が期待される。

#### 課題② 郷土愛の醸成

郷土愛の醸成のためには、外からの視点で芽室町を見ることも重要であり、そのためには、友好都市との交流を積極的に活用することが効果的である。

### 6. 総合計画推進委員会(府内評価)

評価	トレーシー市との交流により芽室町・トレーシー市交流協会が設立され交流が住民同士の交流につながっている。また、策定期と比較して友好・交流提携の事実を知っている町民の割合が増加しており、前進したと評価する。	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	友好都市との交流を強化することで、芽室町への興味関心や郷土愛が醸成されることを期待する。	進捗結果	○			

A:実現した

B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した

C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した

D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない

E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	取組は維持されており、目標は概ね達成されていることから、府内評価と同じく前進したと評価する。	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	・トレーシーへの派遣人数の増加など、取組の推進を検討してほしい。 ・広尾町との連携については認知度が低いため、交流が町民にも伝わるような取組を強化してほしい。	進捗結果	○			

A:実現した

B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した

C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した

D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない

E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した